

学校の教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動
◎よく考えすすんでやりぬく子 ・みんな仲よく助け合う子 ・明るく強い元気な子		
目指す学校像(ビジョン)		
【目指す学校像】	子供たちが安心・安全で楽しく学校に通い、人とのかかわりを大切にして自分を尊重して学び合う「笑顔あふれる学校」	【重点】 教員の授業力と指導力の向上を図り、基礎・基本の定着と読みの力を高める。～安心で安全な学級・学年経営を土台として～ ○本校の教育目標のもと、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指す。
【目指す児童像】	・よく考えすすんでやりぬく子 ・みんな仲よく助け合う子 ・明るく強い元気な子	○重点目標である「よく考えすすんでやりぬく子」の育成を目指し、授業のねらいと指導事項を明確にした、「わかる・できる」考える「広げ深める」「学びを実感する」授業を展開する。
【目指す教師像】	・深い児童理解と高い授業力をもつ教師 ・児童や保護者とコミュニケーションを図り信頼関係を築ける教師 ・明るく謙虚で責任感をもつ教師 ・互いに高め合い協働できる教師 ・教育公務員としての自覚と責任、誇りをもつ教師	○特別支援学級(自閉症・情緒障害学級)設置校として、通常学級との連携を密にした特別支援教育を展開する。 ○「特別支援教育校内委員会の充実」「ユニバーサルデザイン授業の推進」「インクルーシブ教育の推進」に重点的に取り組むことで、個に応じた指導を充実させる学習環境を整え、きめ細やかな指導を充実させる。

前年度までの学校経営上の成果と課題

「成果」 一単位時間の中で「分かる・できる」ようになるための時間と、「考える」ことができるようになるための時間を、教師が意図的・計画的に設定したことで、学ぶ意欲や基礎学力が向上したこと。
 「課題」 これまでに増して、教材の工夫や指導法の工夫に組織的に取り組み、全ての教師が、児童が意欲的・主体的に学ぶ授業を展開できるようにすること。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	一人一人の児童に基礎的・基本的な学力を確実に定着させ、意欲的・主体的に学ぶ姿勢と思考力・判断力・表現力を育てる。	「わかる・できる」「考える」授業、ねらいの明確な授業、見通しのもてる授業の実践を通して、基礎的・基本的な内容の定着を図る。	全学級で「教える時間」と「交流する時間」を意図的・計画的に設定した教えて、考え深める授業実践に取り組む。	4 90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	4 基礎的・基本的な事項の習熟が進んだと答えた児童が 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満
		「楽しい」「おもしろい」と児童が感じられる授業、および児童が意欲的・主体的に学べる授業を実践し学力の向上をめざす。	特に基礎学力の向上をめざし、児童が興味・関心をもてるような、導入の工夫や活動形態の工夫を行う。(コグトレ・ドリルパークの活用)	4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
豊かな心の育成	児童相互・児童と教師・様々な方々(保護者・地域の方等)とのかかわりを通して、豊かで良好な人間関係を築く力を培う。	教育活動全体で道徳的心情を育て、規範意識と道徳実践力を高める。	道徳科を中心として互いに認め合い、思いやる関係を育て、道徳的な心情を喚起し、実践できるようにする。	4 90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	4 ルールを守って生活できるようになったと答えた児童が 3 90%以上 2 80%以上 1 70%未満
		児童相互、児童と教師のかかわりを大切に、豊かな人間関係の育成を図る。	「やわらかく・温かく・毅然と」をテーマに言語環境を整備し、自主的な挨拶を励行する。支持的風土の醸成を基に、聞き合う、話し合う関係づくりに取り組む。	4 90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	4 安心して教室で学習したり生活したりすることができる児童が 3 90%以上 2 80%以上 1 70%未満
健やかな体の育成	健康な心と体づくりに取り組み、健全な生活習慣を身に付けさせる。	体を動かして活動することが好きな子を育成する。	外遊び・体育授業・芝生を活用した実践など、体力向上の取組を、定期的に継続しながら行う。	4 11回以上 3 10回 2 9回 1 9回未満	4 運動の機会が増えたと答えた児童が 3 90%以上 2 80%以上 1 70%未満
		心身の健康および日常生活における安全の意識づくりを図る。	「早寝・早起き・朝ご飯」、食育等の実践により体と心を整えさせると共に、安全指導を充実させる。学校日より、保健だより等によって、保護者の啓発にも努める。	4 6回以上 3 5回 2 4回 1 4回未満	4 「早寝・早起き・朝ご飯」ができていると答えた児童が 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満
特別支援教育の充実	全校で特別支援教育の要素を生かした教育活動を展開する。	全教職員で個別な支援を要する児童の情報を共有し、個に応じた支援や指導を行う。	特別支援委員会(校内委員会を含む)を月に2回以上開催し、配慮の必要な児童の実態に合わせた指導改善を目指す。	4 24回以上 3 18回以上 2 12回以上 1 12回未満	4 児童の実態に合わせて指導できたと答えた教員が 3 90%以上 2 80%以上 1 70%未満
		ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと環境を整備し、全学級で実践する。	ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり及び環境づくりを推進し、通常の学級での教室内支援を充実させる。	4 90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	4 「安心して学習に取り組める」と答えた児童が 3 90%以上 2 80%以上 1 70%未満
本校の特色	「地域に根ざす八小」・「ふるさと八小」として「開かれた学校」を目指し、地域、保護者の信頼を得る。 同時に、八小らしさを大切に、特色ある教育活動を展開する。	「地域の教育力」を活用した授業を実践する。	学校運営協議会や学校支援本部の協力を得て、地域の人材や学習材等の資源を活用して、多様な体験の場を設けた授業を実施する。	4 3か月に1回以上 3 学期に1回 2 年に1回 1 できなかった	4 地域や保護者が見守ってくれていると感じている児童が 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満
		「読書の清瀬」を浸透させるために、読書活動を全校で推進し、読書好きの児童を育てる。	読書年間(年2回2週間の)設定、「スクールライブラリ」、および「市立図書館の学校宅配サービス」の積極的活用などを通して、「読書が好き」と答える児童を増やす。	4 年間50回以上 3 年間40回以上 2 年間30回以上 1 年間30回未満	4 「読書が好き」と答えた児童が 3 90%以上 2 70%以上90%未満 1 50%以上70%未満